

Speech Contest

Manuscript

こんにちは、アリスと申します。日本語の^{しゅうしかてい}修士課程で学んでおり、日本の女性起業家について論文を書いています。その上で、日本の女性リーダーシップについて話そうと思っています。なぜこのトピックについて興味を持ったかという、それは日本であった経験のおかげです。去年、京都に住んでいた時に、よく見かけるオシャレな喫茶店の前を通り過ぎました。いつのまにか、そのお店の^{じょうれんきやく}常連客になりました。暖かい雰囲気他に気づいたことは店長さんは30代か40代の女性だったことで、その店長さんと会話するようになりました。帰国する日、またそのカフェに訪問し、帰えるころには、^{とつぜんぼうふうう}突然暴風雨になってしまいました。店長さんは「また日本に来たら返しに来てね」と言いながら、親切に自分の傘を貸してくれました。その経験と影響、または店長さんの親切さのおかげで、女性リーダーシップを調べるインスピレーションをもらいました。

結局のところ、世界のCEOのなかでは5.4%は女性で、起業家なら38.8%です。なお日本の場合を調べるとそれぞれのパーセントは14.2と34.2です。もちろん理由がいくつもあると思いますが、様々な科学者の^{ていあん}提案によると、女性起業家やマネージャーを^{やしな}養うため、^{じここうりよくかん}自己効力感、能力、あとはワークライフバランスを^{かいぜん}改善する道具が必要です。どうせ、女性がもっと経済や財政に^{ざいせい}携われば^{たずさ}携わるほど、社会にとって価値があるものではないでしょうか。もちろん日本の政府は男女平等を実

現するため、様々な法律や政策を作っています。例えば、^{だんじょきょうどうさんかくしゃかいきほんほう}男女共同参画社会基本法や
^{じょせいかつやくすいしんほう}女性活躍推進法などがあります。

しかし、いつも自分の能力に自信を持つことを簡単にできることではないと思います。
また、誰かを見習うことも重要だと思います。例えば、東京の初の女性知事、
こいけ・ゆりこやサントリーの CEO おの・まきこ、みたいな人です。

現在、男女平等の面^{めん こうたい}で後退がし続けて、^{べいこく おうしゅう}米国や欧州の右派化^{う は か}が進む世界において、
この話題^{わだい}は特に今重要だと思います。

この秋はその傘を持って行って、店長さんにお礼を言うつもりです。^{りそうしゅぎてき}理想主義的に
聞こえるかもしれませんが、私が一番伝えたいのは私たち女性はもっと自身をも
ち、胸を張って生きていくべきだということです。後は、男性を排除^{はいじょ}せず、みんな
でよりよい世界を作っていきましょう。

ご清聴ありがとうございました。